

52 巻 (2019 年)

2 号 (3-4 月号)

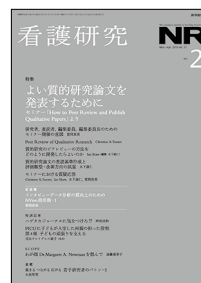
よい質的研究論文を発表するために

セミナー「How to Peer Review and Publish Qualitative Papers」より

研究者、査読者、編集委員、編集委員長のためのセミナー開催の意図 萱間真美／
Peer Review of Qualitative Research Christine A. Tanner／質的研究のピアレビュー
の方法をどのように開発したらよいのか Ian Shaw (編集 木下康仁)／質的研究論文
の査読基準作成と評価類型・改善方向の試案 木下康仁／セミナーにおける質疑応
答 Christine A. Tanne, Ian Shaw, 木下康仁, 萱間真美

特別記事●ハゲタカジャーナルに気をつけろ!? 西垣昌和／PICU に子どもが入室した
両親の担った役割 第 4 報 子どもの頑張りを支える 戈木クレイグヒル滋子ほか

新連載●インタビューデータ分析の質向上のための NVivo 活用術・1 萱間真美

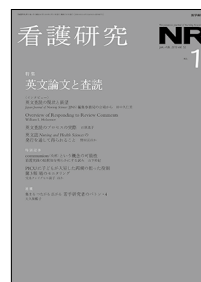


1 号 (1-2 月号)

英文論文と査読

英文査読の現状と展望 田中久仁美／Overview of Responding to Review Comments
William L. Holzemer／英文査読のプロセスの実際 石原逸子／英文誌 *Nursing and
Health Sciences* の発行を通して得られること 野垣宏ほか

特別記事●communion (交感) という概念の可能性 山下裕紀／PICU に子どもが入
室した両親の担った役割 第 3 報 場のモニタリング 戈木クレイグヒル滋子ほか



51 巻 (2018 年)

7 号 (11-12 月号) アジアの大学を知る 日本の看護研究力を高める

真田弘美／上別府圭子／山本則子／武村雪絵／春名めぐみ／仲上豪二郎／玉井奈緒／五十嵐歩／成瀬昂／
北村言／大江真琴／Claudia K.Y. Lai

6 号 (9-10 月号) 国際学会で発表しよう——その研究が、世界をつなぐ

牧本清子／樋上容子／山本あい子／有坂めぐみ／山川みやえ／森木友紀／河野あゆみ／吉行紀子

5 号 (7-8 月号) ケアの意味を見つめる事例研究——現場発看護学の構築に向けて

山本則子／池田真理／野口麻衣子／吉田滋子／山花令子／齋藤凡／家高洋／柄澤清美

4 号 (増刊号) 看護の未来を創造する アクションリサーチ——人々とともに、人々のために

筒井真優美／草柳浩子／山内朋子／江本リナ／Jean Watson／遠藤恵美子、三次真理／伊藤久美／
袖井孝子／やまだようこ